

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
486 美しいまちづくり推進事業（道路清掃）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	2	橋梁、トンネル等の適正管理

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	道路管理課	山本 隆生	435-1088
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	道路維持費		
	大事業	道路維持修繕事業		
中事業	美しいまちづくり推進事業			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）		全体事業概要			
	主要幹線道路の清掃業務		主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行う。			
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行った。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行った。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行った。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行う。	主要幹線道路の路面清掃車による清掃、歩道の人力による清掃及び町美運動等による土砂の収集・運搬・処分を行う。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	48,112	41,732	76,132	71,305	76,132	66,814	72,405		72,405	
伸び率（%）	-	-	58.2%	70.9%	0.0%	▲6.3%	▲4.9%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	8,984	8,966	8,966	9,195	9,604	10,035	9,999	10,035	
	正規職員以外	0		0	445	1,198	449	0	0	
	小計	8,984	8,966	8,966	9,640	10,802	10,484	9,999	10,035	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	48,112	41,732	76,132	71,305	76,132	66,814	72,405		72,405	
所要人数（人）	正規職員	1.18	1.21	1.21	1.21	1.21	1.26	1.26	1.26	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.28	0.57	0.28	0	0	
主な予算内訳	路面清掃委託20,203千円、土砂等運搬委託23,648千円、土砂等処分委託28,554千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 清掃回数	日	目標値	180	180	180	180	180
		実績値	180	180	180		
		達成度(%)					
活動指標 土砂等収集運搬	地区	目標値	30	30	30	30	30
		実績値	30	30	30		
		達成度(%)					
成果指標 清掃延長	m	目標値	30,716	30,716	30,716	30,716	30,716
		実績値	30,716	30,716	30,716		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
		目標値					
成果指標		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市道の増加に伴い、路面清掃面積の増加等管理コストの上昇が見込まれる。
見直し・改善内容	清掃箇所及び工法の精査し、コストの低減を図ることにより、清掃延長の増加に対応しなければならないと考えられる。